

令和元年度決算に係る
定期監査資料

令和2年7月

西部総合事務所日野振興センター
日野振興局

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	2 頁
5	主な事業に関する調べ	3～10 頁
6	収入証紙取扱額調べ	11 頁
7	現金の取扱状況	11 頁
8	財産に関する調べ	12～14 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付及び使用許可調べ	15～17 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	17 頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	18 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	19 頁
13	備品の処分状況調べ	19 頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	19 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	

【個別調査事項】

地域振興課

15	合同庁舎に入居している団体等の調べ	20頁
16	主な事務事業の実施状況	20～21頁
	(1) 管内地方機関及び市町村との連携	
	(2) 広聴、広報等	
	(3) NPO、ボランティアとの協働	
	(4) 国際交流の推進	
	(5) 地域振興	
	(6) 商工業の振興等	
	(7) 農商工連携の推進	
	(8) 危機管理の対応	
	(9) その他	

農林業振興課

15	事業別予算執行状況調べ	22～29頁
	(1) 事業の執行状況	
16	用地取得の状況調べ	29頁
17	登記の状況調べ	29頁
18	林業改良指導活動状況調べ	30～31頁

農林業振興課農業振興室

15	事業別予算執行状況調べ	32～34頁
	(1) 事業の執行状況	
16	用地取得の状況調べ	34頁
17	登記の状況調べ	34頁

日野農業改良普及所

15	事業別予算執行状況調べ	35頁
16	用地取得の状況調べ	35～37頁
	(1) 普及事業の実態	
	(2) 農業改良普及所の担当地区	
	(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況	
	(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況	
	(5) 農業改良普及所が指導及び設置している展示圃（農業改良普及活動促進事業）の設置状況調べ	

○	意見、要望等	38頁
---	--------	-----

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和2年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	
定員	12	12	27	26	0	0	39	38	
現員	() 13	() 13	(1) 26	(1) 25	() 0	() 0	(1) 39	(1) 38	(公財)鳥取県造林公社派遣
過不足(△)	1	1	△1	△1	0	0	0	0	中山間地域振興リーダーに事務職を充当
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度任用職員 (非常勤職員)	3	3	4	5	2	2	9	10	事務員2 警備員2 自然保護監視員1 森林保全巡視指導員4

4 役付職員の調べ

(令和2年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
日野振興センター所長	越智 浩明	3	3	
日野振興局長 兼地域振興課長	(兼) 八幡 徳弘	0	3	西部県税事務所日野支所長
日野振興局副局長 兼農林業振興課長	若松 理恵	0	2	1年3月
地域振興課 参事兼課長補佐	高橋 達也	1	3	
地域振興課 課長補佐	藤井 理恵	2	3	出納員 西部県税事務所日野支所課長補佐
地域振興課中山間地域振 興リーダー	川上 宏	1	3	
地域振興課 課長補佐	宮本 圭子	1	3	
地域振興課 課長補佐	塚本 成史	3	0	
農林業振興課 課長補佐	小山 敢	0	2	
農林業振興課 普及主幹	前野 洋一	0	3	11年3月
農林業振興課 課長補佐	田中 寛貴	0	3	
農林業振興課 課長補佐	(兼) 米村 浩二	1	3	4年3月 米子工事検査事務所課長補佐
農林業振興課 農業振興室長	(兼) 松原 順子	1	0	西部総合事務所地域振興局農商工 連携チーム参事
農林業振興課農業振興室 課長補佐	(兼) 福本 由美	1	3	西部総合事務所地域振興局課長補 佐
農林業振興課農業振興室 課長補佐	(兼) 三浦 泰忠	0	3	鳥獣対策センター課長補佐 西部総合事務所地域振興局農商工 連携チーム課長補佐
日野農業改良普及所長	天満 伊津美	1	3	3年3月
日野農業改良普及所 普及主幹	長戸 竜志	4	3	
日野農業改良普及所 普及主幹	龜田 修二	1	3	
日野農業改良普及所 普及主幹	(兼) 入江 誠一	0	3	2年3月 西部総合事務所地域振興局農商工 連携チーム課長補佐
日野振興局参事	三島 昇	2	3	公益財団法人鳥取県造林公社へ派 遣

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳										
		国庫支出金	その他	一般財源								
鳥取県日野郡連携会議	21	0	0	21								
鳥取元気プロジェクト												
元気づくり総合戦略												
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>県及び日野郡3町間の柔軟で機動的な連携の枠組みにより、圏域における行政サービスの維持及び向上並びに効率的な行政運営を促進するとともに、圏域に共通する諸課題を解決し、持続的な発展に寄与する。</p> <p><背景>少子化が進み、社会経済の状況が厳しくなる中、個々の自治体では住民ニーズに対応困難な実態がある。このため平成22年に日野郡3町と県とで「鳥取県日野地区連携・共同協議会」(法定協議会)を設置した。その後、平成27年にはより迅速に課題解決が図れる連携協約へ移行することとし、「鳥取県日野郡ふるさと広域連携協約」を締結(H27.7.1発効)した。</p> <p>【根拠】平成26年11月に施行された地方自治法改正による新たな自治体間連携の仕組み「連携協約」制度。地方自治法第252条の2</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>a 連携会議(1回開催)</p> <p>急激な人口減少により小規模集落の維持を始めとして課題が顕在化、多様化することが想定され、また単独の町の取組だけでは解決しにくい課題が多くなっていることから、12月20日に『鳥取県日野郡連携会議』を開催。知事と日野郡3町長が、喫緊の課題である「地域の担い手の育成、確保」及び「住み慣れた地域で暮らし続ける仕組みづくり」について議論し、次の課題への取組を連携して進めることを共同宣言した。</p> <p>(a) 「公設塾」を設立し、高校生に「ふるさと教育」を実施</p> <p>(b) 「関係人口」や移住定住等を増やす</p> <p>(c) 持続可能な地域交通体系の構築</p> <p>(d) 住民自らが地域課題を考え、解決する取組を支援</p> <p>b 町長・センター所長会議(1回開催)</p> <p>・特定地域づくり事業協同組合の設立に向けた取組について協議</p> <p>c 副町長・センター所長会議開催(4回開催)</p> <p>・各町と県との連携の提案、検討</p> <p>・事業の進捗状況の確認、課題の検討状況の舵取りなど</p> <p>d 各ワーキンググループの会議開催(随時開催)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>主な取組内容(活動状況)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母子保健(発達支援)</td> <td>・心身の発達に特別な支援の必要な乳幼児に対し、医師等による診察並びに個別指導等を共同実施(年6回)した。</td> </tr> <tr> <td>消費生活相談及び消費者啓発</td> <td>・消費生活相談窓口の設置、啓発グッズ(悪徳業者対策啓発のぼり)の購入、町・県職員合同研修(年1回)を実施した。</td> </tr> <tr> <td>公共土木施設の維持管理</td> <td>・県道の道路維持について部分的に町に委託し、住民生活に近い自治体で管理。冬季除雪対策として、除雪機械運転手育成支援事業(免許取得費用を助成)及び除雪オペレーター育成研修会を実施した。 ・県職員の減少、町は技術者が少なく前年災害対応もあり負担が増えており、維持工事及び除雪のあり方を検討した。令和3年度から新体制へ移行を目指す。</td> </tr> </tbody> </table>					項目	主な取組内容(活動状況)	母子保健(発達支援)	・心身の発達に特別な支援の必要な乳幼児に対し、医師等による診察並びに個別指導等を共同実施(年6回)した。	消費生活相談及び消費者啓発	・消費生活相談窓口の設置、啓発グッズ(悪徳業者対策啓発のぼり)の購入、町・県職員合同研修(年1回)を実施した。	公共土木施設の維持管理	・県道の道路維持について部分的に町に委託し、住民生活に近い自治体で管理。冬季除雪対策として、除雪機械運転手育成支援事業(免許取得費用を助成)及び除雪オペレーター育成研修会を実施した。 ・県職員の減少、町は技術者が少なく前年災害対応もあり負担が増えており、維持工事及び除雪のあり方を検討した。令和3年度から新体制へ移行を目指す。
項目	主な取組内容(活動状況)											
母子保健(発達支援)	・心身の発達に特別な支援の必要な乳幼児に対し、医師等による診察並びに個別指導等を共同実施(年6回)した。											
消費生活相談及び消費者啓発	・消費生活相談窓口の設置、啓発グッズ(悪徳業者対策啓発のぼり)の購入、町・県職員合同研修(年1回)を実施した。											
公共土木施設の維持管理	・県道の道路維持について部分的に町に委託し、住民生活に近い自治体で管理。冬季除雪対策として、除雪機械運転手育成支援事業(免許取得費用を助成)及び除雪オペレーター育成研修会を実施した。 ・県職員の減少、町は技術者が少なく前年災害対応もあり負担が増えており、維持工事及び除雪のあり方を検討した。令和3年度から新体制へ移行を目指す。											

有害鳥獣対策	・日野郡鳥獣被害対策協議会実施隊を農家への技術指導に関する総合窓口として位置づけ、侵入防止柵の設置・管理指導等を実施した。
圏域マネジメント能力のための人材確保	・町・県職員合同研修を開催（8回）し、職員の研修機会の充実を図った。 ①気象防災ワークショップ ②地方創生 ③地域づくり先進地施策（3町長ほか） ④消費者行政 ⑤SDGs ⑥不当要求行為等対応 ⑦自治体病院 ⑧特定地域づくり事業
事務の共同化に関する検討	・共同発注による物資購入（消費者啓発用悪徳業者対策啓発のぼり）
圏域教育のあり方の検討及び環境整備	・「災害等発生時における日野郡3町の小中学校給食の相互支援に関する協定書」に基づく実食訓練として、日野町学校給食センターが被災して使用できなくなった想定で、江府町学校給食センターが調理した給食を日野町内の小中学校に提供。事前に配送訓練や調理員打合せなどを行い、計画どおり実施することができた。 ・平成30年度に3町連携して取り組むこととなった高校生への「ふるさと教育」について、6月に公設塾の実施主体となる日野郡ふるさと教育推進協議会を設立し、講師募集やコンセプト作成などを進めた。
圏域に共通する課題に関する検討	・地域の実情にあった交通体系の検討を進めるため、町長等による事例視察や路線人口等のシミュレーションを実施した。また、12月の連携会議で知事と3町長が、地域交通ワーキンググループ設置に合意、地域交通のあり方の検討を進めることを共同宣言した。 ・担い手確保に資するため、特定地域づくり事業協同組合設立の勉強会を開催し、各町が組合設立の検討を開始した。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・地域交通体系の検討や特定地域づくり事業協同組合設立の検討、日野郡公設塾の設置など、町の意思決定を要する課題について、3町の合意形成が円滑に行われるよう、町長・副町長レベルで勉強会などを実施した。
- ・職員合同研修について、各町の要望があった研修について、当センターで企画したり、当センターや各町が主催する研修に参加したりすることで、より町の希望に添った内容を効率的に実施した。
- ・ワーキンググループについて、法定協議会から引き続き設置していた経緯もあり役割を終えたものがある一方で、取り組むべき新たな課題もあるため、5減1増の再編を行った。

ウ 成果及び効果

- ・「災害発生時相互支援協定」に基づく町を跨いだ学校給食提供を、各学校給食センターや調理受託事業者などの協力を得て、円滑に実施できた。
- ・高校生への「ふるさと教育」の目指す方向性、公設塾の具体的な仕組み、経費負担等の議論、調整が進み、令和2年度初頭に公設塾を開設することができた。

エ 課題

- ・日野郡では、昨年4月の推計人口が1万人を切り、老年人口の比率も上昇している。こうした状況で住民生活を維持し、持続可能な地域を作っていくために、連携会議としても昨年度着手した取組を加速して新たな課題に対して迅速かつ柔軟な対応が必要である。
- ・「ふるさと教育」を定住、関係人口の増加につながる日野郡らしいものにするために、公設塾の運営や情報発信について協力するとともに、地元高校や地域住民との調整を行い、より効果的な取組となるようにする必要がある。
- ・日野郡鳥獣被害対策協議会実施隊や道路維持管理の今後のあり方について、既存の合意事項に不都合が生じており、令和2年度中に新たな取組方針を策定し、合意することとしている。令和3年度から円滑に実施するためには令和2年度早期の検討が必要で、的確な進行管理を行う必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
日野郡ニューツーリズム推進事業	1,050	0	0	1,050
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
中山間地域特有の諸問題を抱える日野郡において、地域の関係者と連携し、地域資源を活かした日野郡版ニューツーリズムに取り組むことで、日野郡の交流人口を増加させ、地域資源の保全や地域活性化につなげる。				
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ※事業実施主体「日野郡広域交流促進協議会」 日野郡の交流人口を増やすため、行政と観光協会や商工団体等の民間で組織（事務局は日野振興局）。主には県の補助金や町の負担金を活用して、地域資源の磨き上げ及び情報発信を行っている。 </div>				
(イ) 事業の実施状況				
a エコツーリズムメニューの磨き上げ事業				
(a) 地域資源の磨き上げ				
他地域での様々な観光事業と日野郡の観光資源に精通した有識者にアドバイスをもらいながら魅力向上、磨き上げを行った。				
<ul style="list-style-type: none"> ・既存の郡内向け森遊び体験を米子市周辺の子どもを対象とした観光商品につなげていくため、ツアー条件を設定するなど旅行商品となるよう磨き上げを行った結果、新しい観光素材につながった。 ・外国人観光客目線による日野郡観光資源等の検証方法について助言いただき、郡内観光資源の検証を行った。 				
(b) モニターツアーの実施				
①にちなん森あそびキッズツアー [①12/22、②12/26、③1/26]				
<ul style="list-style-type: none"> ・日南町出立山キャンプ場での森あそびとバウムクーヘン、焼きリンゴ作り体験を楽しむツアー。 ・参加者①7名、②7名、③7名（各回とも参加費：大人・子ども3,500円） 				
②日野郡インバウンドモニター [1/29・30]				
<ul style="list-style-type: none"> ・山陰インバウンド機構と連携して近隣在住の在日外国人による郡内観光地の受入環境等の点検・確認を目的としたモニターツアー。 ・参加者3名（米国男性、香港男性、オランダ男性） 				
b 情報発信事業				
日野郡の魅力をPRする日野郡観光パンフレット『日野路往来』（17,000部）を作成。また、日野郡の夏と秋のイベント情報を集約した『日野軍★夏の陣』（10,000部）、『日野軍★秋の陣』（20,000部）を作成し、郡内外に情報発信を行った。				
その他、日野郡の自然散策、日野川ラフティング、古民家体験などを集約した「日野郡体験メニューガイド」を10,000部製作し、西部圏域中心に情報発信を行った。				
(ホームページでもメニューガイドと動画と併せて情報発信を行った。)				
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
皆生温泉旅館組合と連携して同温泉宿泊者を対象に特典付きクーポン、パンフレットを配布することにより、日野町の金持神社に周遊する流れが出てきたが、さらに道の駅等開運グッズを配布するなど郡内の周遊を促すよう取り組んだ。				
ウ 成果及び効果				
「金運開運向上」をテーマとした場合、皆生温泉の観光客に来訪いただけることが分かった。連携している皆生温泉旅館組合事務局によると9月から年末にかけて観光客の反応が良かったとの意見をいただいた。				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・日野郡は魅力的な地域資源が豊富な地域であり、その知名度を上げるためには、様々な情報媒体を利用して露出を図るとともに、ターゲットとする層を強力に誘因するためにわかりやすいテーマを打ち出すなどの戦略と絡めて効果的・効率的に情報提供することが必要である。 ・地域の交流人口を増やすために郡内の行政機関、民間団体等が観光に関する様々な取組を行っているが、今後の益々の地域活性化のためにも、日野郡広域交流促進協議会や各町の観光協会が核となって、お互いの情報交換や摺り合わせをしていく必要がある。 				

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
日野川の源流と流域を守る会	—	—	—	—
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
「日野川流域の自然環境を守り、子ども達に美しい日野川をひきつぐ」ため、森、川、海を守る環境保全活動、流域の歴史や文化を学ぶ活動、上流域と下流域の交流推進活動を実施する。				
(イ) 事業の実施状況				
a 日野川に関する講演会の開催				
・演題：「農業と観光、そしてインバウンドへの取り組み」 (講師：株式会社石田コーポレーション代表取締役社長石田 康夫氏) [2月14日 約110名]				
b 森や川、海を守る活動				
・ホテルの棲む環境を守る活動&自然観察会 [5月11日 20名]				
・水道☆環境フェスタ in Yonago への参加 [6月2日]				
・森林整備体験交流会&御墓山探訪 [6月22日 19名]				
・日野川一斉清掃&外来植物除去への参加 [7月7日]				
・日吉津海岸クリーン作戦への参加 [8月25日]				
c 歴史や文化、自然を学ぶ活動				
・春の山菜を楽しむ会&自然観察会 [5月26日 23名]				
・日野川の自然環境と希少生物を守る体験学習会 (オサノユウウチ生態調査) [日野高校生徒 7月8日 10名、江府小学校生徒 8月7日 52名]				
・日野川ラフティング体験&水辺の生き物観察会 [8月10日 10名]				
・都合山たたら散策ツアー [10月12日実施予定であったが、荒天のため中止]				
・日野川源流探訪 [11月2日 22名]				
・奥大山古道ウォークへの参加 [11月10日]				
d 日野川流域憲章記念事業				
・日野川写真塾2019 [6月8日 8名]				
・日野川フォトコンテスト [募集5月13日～10月18日 応募作品35点]				
・日野川フォトコンテスト作品展 [6月～9月、西部地区3箇所巡回展示] (名和公民館、金持テラスひの、ヴィレステひえづ)				
e 森と水に親しむ活動支援事業				
・日野川に関係した活動を行う団体に補助金を交付 [3団体 補助額399千円]				
f 会報「ひのがわ」第34号及び第35号の発行 (情報発信)				
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
・会員の高齢化と会員数の減少傾向に歯止めをかけるため、各種イベントの内容を見直すとともに、イベントの広報の方法についても、メディア露出の機会が増加するよう工夫した。 [変更点] 事業実施の数日前に行っていた報道機関への資料提供を参加者募集の時点に変更した。				
ウ 成果及び効果				
・イベントの広報を工夫したことなどにより、多くのイベントで参加申し込みが定員を上回った。また、会員以外からの参加申し込みもあり、新規会員の獲得につながった。 ○会員数 H30末 371 (団体80、個人291) R1末 386 (団体80、個人306)				
エ 課題				
・会の目的、日野川の自然環境を守り次世代へ継承していくこと、の実現のため現会員の維持はもとより新規会員を獲得し会の活動をより活性化させることが重要である。そのために、「日野川の源流と流域を守る会の一層のPR」と「多様で幅広い年齢層の方々が参加できる魅力ある企画の実施」が必要である。				

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
林業成長産業化地域創出モデル事業 【農林業振興課】	8,716	8,716		
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				

(概要)

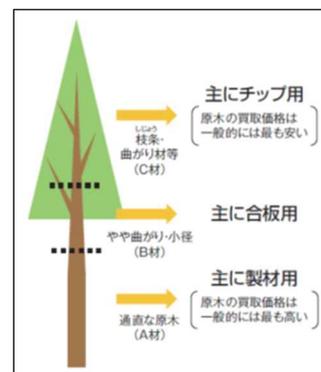
ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・平成29年度に国から「林業成長産業化地域」に選定された日南町の取組を支援し、木材のカスケード利用を軸とする新たな循環型林業創出を目指す。

〈参考：木材のカスケード利用〉

木材を建材等の資材として利用した後、LVL や合板、紙等の利用を経て、最終段階では燃料等に使うなど、良いものから順々に利用して最後まで余すことなく使い尽す考え方。



(イ) 事業の実施状況

(単位：千円)

主な事業内容	事業費	補助金
循環型林業の事業化に向けての調査、試験等 (補助率：国10/10以内) ・不燃LVL製造に向けAQ認証取得のための予備試験 (事業主体：大建工業株)、コンテナ苗生産の事業化調査 (事業主体：日南町森林組合)、不在村地主等の山林集約化の課題整理等 (事業主体：日南町) を支援した。 ・防腐・防蟻LVL処理施設整備 (事業主体：日南大建株) について、支援しているところ。	4,339	4,000
にちなん中国山地林業アカデミーの整備 (事業主体：日南町、補助率：国10/10以内) ・成長産業化の実現に必要な林業の担い手を育成する全国初の町営による林業アカデミーについて、研修設備の整備を支援した。	5,940	4,416
木育の推進 (事業主体：日南町、補助率：国10/10以内) ・町内産材を使った玩具による木育の推進を支援した。	300	300
計	10,579	8,716

イ 令和元年度事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・事業実施に森林組合、民間企業、大学等の多数の関係者がかわかり、複数の事業が同時進行に進んでいることから、事業主体 (日南町)、関係者への指導、支援を強化し伴走型で取り組んだ。

ウ 成果及び効果

- ・木材カスケード利用を軸とする循環型林業の構築に向けて、防腐・防蟻LVL処理施設 (R2繰越、事業費：約2億2千万円) の整備に着手するとともに、不燃LVL・DWファイバーの製造、コンテナ苗生産 (R3着手予定、事業規模：年12万本生産、想定事業費：約1億円) の事業計画が具体化した。
- ・にちなん中国山地林業アカデミーの令和元年度入学の第一期生7名のうち6名が既に林業事業体等で就業し、現場で活躍しており、令和2年度も7名の入学者があった。

エ 課題

- ・民間企業等の多数の関係者と連携して日南町の循環型林業の構築を進めているところであるが、新型コロナウイルスの影響で木材需要等の変化につながるおそれがあるので、時代の動きに合わせて事業の内容、着手時期等を精査する必要がある。

事業名	決算(見込)額	財源内訳										
		国庫支出金	その他	一般財源								
日野郡鳥獣被害対策協議会支援事業 【農林業振興課農業振興室】	450			450								
鳥取元気プロジェクト	産業を元気に 元気な農業に向けて農業活力増進プランを実行											
元気づくり総合戦略	豊かな森や里山資源の活用											
(概要)												
ア 目的及び事業の実施状況												
(ア) 目的												
<ul style="list-style-type: none"> ・日野郡では、3町と県が締結した「鳥取県日野郡ふるさと連携協定」に基づき、郡内3町、関係団体及び県で構成する「日野郡鳥獣被害対策協議会（以下、「協議会」という。）」を設立し、深刻化する野生鳥獣被害に対し、町を超えた被害対策を展開している。 ・協議会の実働部隊は実施隊であり、4名の実施隊員が各町から併任の辞令を受け、各種研修、調査等の被害防止活動にあっている。被害防止活動推進に要する経費（各種講習会への参加経費、鳥獣被害状況確認に要する経費）の財源は国庫（定額）が主体である。 ・本補助金は、国庫補助事業で支援対象とならない活動経費（協議会の運営及びその実務を担う実施隊の育成経費など）を町と県で連携して支援（町3/4、県1/4）することにより、日野郡における総合的かつ効果的な鳥獣被害対策を推進することを目的とする。 												
(イ) 事業の実施状況												
<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象経費（国庫の対象外となる日野郡鳥獣協議会の活動経費） 												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>執務室設置及び運営</td> <td>事務所等借上料、パソコン利用料、通信費、機材工具等</td> </tr> <tr> <td>公用車借上及び利用</td> <td>車両借上料、燃料費等</td> </tr> <tr> <td>実施隊員育成</td> <td>研修参加旅費、狩猟免許等取得費等</td> </tr> </tbody> </table>					項目	事業内容	執務室設置及び運営	事務所等借上料、パソコン利用料、通信費、機材工具等	公用車借上及び利用	車両借上料、燃料費等	実施隊員育成	研修参加旅費、狩猟免許等取得費等
項目	事業内容											
執務室設置及び運営	事務所等借上料、パソコン利用料、通信費、機材工具等											
公用車借上及び利用	車両借上料、燃料費等											
実施隊員育成	研修参加旅費、狩猟免許等取得費等											
【協議会の主な活動状況】												
<ul style="list-style-type: none"> ・現地巡回、被害状況の確認、鳥獣侵入防止柵設置研修会の開催（現地対応延べ475回） ・講習会の開催や農林水産省、自治体、JA等が主催する講習会における講師派遣、研修会への参加 ・ニホンジカ、ツキノワグマの生息状況調査、誘因及び捕獲手法の試作、ドローンを活用した被害確認実証 												
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点												
<p>鳥獣被害対策の技術指導に関する総合窓口として、3町の住民からの相談を実施隊へ一元化するとともに、「寄せない、捕まえる」対策への重点化へむけた活動計画策定などについて事務局会で検討した。</p>												
ウ 成果及び効果												
<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ等の侵入防止を集落ぐるみで推進し、担い手への農地集積を後押しするなど、全国的にも注目される大きな成果を上げている。 ・道路区域等における鳥獣侵入防止柵設置の基準および安全対策の検討、助言・指導に向けた調整を行い、やむを得ず設置する場合は令和2年度より許可が必要となった旨、広報を利用し農家への周知を図った。 ・シカの生息密度に関する調査やクマ出没時の初動対応等、新たな業務への対応と隊員の安全性確保など組織体制を3町で協議し、令和2年度日野郡鳥獣被害防止計画を策定した。 												
エ 課題												
<ul style="list-style-type: none"> ・集落の人口減少に対応した集落ぐるみでの対策や侵入防止柵の適正な維持管理。 ・深刻化が懸念されるニホンジカ増加への対策及び捕獲獣の低コストな減容化。 ・実施隊員のスキルや経験の定着促進と継承、隊員の待遇改善や組織の体制強化。 												

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県農業改良普及事業 【日野農業改良普及所】	2,816	559		2,257
鳥取元気プロジェクト	Ⅱ産業を元気に⑧元気な農業に向けて農業活力増進プランを実行			
元気づくり総合戦略	農林水産業の活力増進 農業生産1千億円の達成			
(概要)				
<p>地域を担う農業者の育成・自立及び地域農業の振興をめざして地域の実情を踏まえて作成した普及指導活動計画(10課題：作物班3、野菜・花卉班2、広域果樹班1、畜産班1、広域加工流通・農業労働班1、総合支援班2)に基づき、農業者に対し新品種・新技術の普及や経営管理及び地域振興等に対する支援を行った。</p> <p>(以下、「中山間地に適応した水田農業の担い手育成と支援(作物班)」の中でのスマート農業に関する支援について記載。)</p>				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<p>水田農業の維持継続のため、集落営農の組織化や法人化を進めているところであるが、傾斜が大きい長大な畦畔や狭小な不整形のほ場など条件的に不利な農地が多く、また、高齢化が進行する中では人材確保に不安を持っている担い手も多い。そのため、日野郡の担い手にとっては、畦畔管理や労力軽減、省力化は重要な課題であり、スマート農業技術について期待も大きい。</p> <p>こうした現状を踏まえ、スマート農業にかかる現地実証を行い、技術や特徴を整理し、効果的なスマート農機の活用を提案することにより、担い手や地域の課題解決に向けた取り組みを支援する。</p>				
(イ) 事業の実施状況				
<p>(株)ファームイング(日南町印賀)では、「県版スマート農業技術の開発・実証プロジェクト事業」(令和元年～2年)に取り組むこととなり、鳥取大学、農機メーカー、県農業試験場、とっとり農業戦略課、JA鳥取西部等と連携し、実証試験を支援した。</p>				
(ウ) 実証内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・基肥及び追肥をスマート農機により調節する可変施肥(基肥・追肥)技術体系の実証 (200a)(鳥取大学共同研究) 				
<p>土壌センサ搭載型可変施肥田植機：</p> <p>田植えを行いながら作土深と土壌肥沃度を計測し、その値に応じて施肥量が変化</p> <p>スマート乗用管理機</p> <p>葉色を計測しながら、その値に応じて施肥量が変化</p> <p>作業日：田植(5月16日)、追肥(7月23日)</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンを用いた鉄コーティング種子湛水直播体系(播種+農薬散布+追肥)の実証(70a) <p>作業日：直播(5月15日)農薬散布(6月4日、8月2日、8月16日)</p> <p>追肥(7月16日、7月25日)</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・畦畔法面において、リモコン式自走式草刈機による草刈り作業の実証 <p>肩掛け式刈払機の草刈り作業を慣行とし、作業時間、身体活動量、身体活動強度を比較</p>				
(エ) 実演会等の開催支援				
<p>(株)ファームイング、関係機関と連携し、実演会の開催や実証事例報告会を支援した。</p> <p>実演会の実施 5回</p> <p>ドローン直播(5月15日)、可変施肥田植機(7月16日)</p> <p>ドローン追肥及びリモコン除草機(7月16日)</p> <p>スマート乗用管理機による追肥(7月23日)ドローン農薬散布(8月2日)</p> <p>実証事例報告会(12月19日、農業大学校)</p>				

(オ) 広報活動

スマート農業の取り組みについて、日野振興センターHP「日野ごよみ」（5月掲載）「日野振興センターだより」（第26号、9月発行）で県民への紹介に務めた。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点
特になし

ウ 成果及び効果

- ・可変施肥技術体系では、ほ場内の肥沃度を把握することはできたが、生育の均一化の効果は明瞭ではなく、収量向上についても判然としなかった。しかし、肥料費が削減されるなどにより、利益が2,300円/10a向上したと試算された。
- ・ドローン体系では播種作業の時間が田植えに比べ約4割程度に軽減でき、播種作業も含めた直播ツールとして有望と思われたが、収量は慣行の6割程度に留まった。また、糞をコーティングした鉄粉が装置に付着したことにより誤作動を生じたり、また、除草剤の中には散布装置から出にくい材があるなどのトラブルもみられた。
- ・リモコン式草刈り機は、慣行の肩掛け刈払機に比べ、作業時間と身体活動量はどちらも8割程度となった。また、リモコン除草機のみで畦畔の草刈りが全て行えるものではなく、刈払機による補完的な除草作業が必要である。
- ・㈱ファームイングが、県の実証報告会で結果を報告した。また、担い手として、経営や地域の課題を明確にし、スマート農業はあくまで解決のツールとして「活用」するものであるという意識が高まった。

エ 課題

① 目的どおりの成果が得られなかった事項

- ・可変施肥体系では、肥料費削減効果が認められるもの、機械が高額であるため費用対効果について課題が大きい。また今回の農機は大型であるため、一般的な山間地域のほ場には向かない。

② 成果は得られたが、さらに経済的・効率的な方法が考えられる事項

- ・ドローン体系は育苗コストの低減、機械の汎用性、作業の省力化等で有望と考えられるが、苗立が不均一で生育揃いが遅くまで影響し収量が低くなったため、ほ場の選定や水管理、品種の検討など栽培面でも改善と技術習得が必要である。
- ・リモコン除草機は、作業負担の軽減に有用であるが、農機メーカーの開発も日々進行しており、他機種や別のタイプの除草機との比較検討が必要である。

③ 次年度以降、取り組むべき事項

- ・鉄粉を使用しない催芽糞を活用したドローン直播の検討
- ・他機種のリモコン除草機や、その他の除草機（自走式・歩行型・アタッチメント等）の比較や組み合わせ効果の検証
- ・ほ場内肥沃度のデータを活用した施肥基準の見直し
- ・日野郡中山間営農ネットワーク協議会（管内法人等の協議会）での情報共有

6 収入証紙取扱額調べ

① 有 ・ 無

7 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(令和2年5月31日現在)

収入科目 (節)	収入済額 (円)	件数 (件)	備 考
物品売払収入	12,950	10	特別栽培シール5件(7,350円)、管内図5件(5,600円)
雑入	820	4	公衆電話回収料金3件(780円)、コピー代1件(40円)
合 計	13,770	14	管内図5件は日野県土整備局収入

イ つり銭の状況

(令和2年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額 (円)	30,000
--------	---	-----------	--------

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日		面積 (㎡)
行政財産			11,657.31	不明					11,657.31		不明	
	(内訳)				増加 H		H					
計			11,657.31	不明					11,657.31		不明	
普通財産			2,149.54	不明					2,149.54		不明	
	(内訳)				増加 H		H					
計			2,149.54	不明					2,149.54		不明	
合計			13,806.85						13,806.85			

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等 (内訳)	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日		面積 (㎡)
行政財産	(内訳)		5,394.29	不明						5,394.29	不明	
計			5,394.29	不明						5,394.29	不明	
普通財産	(内訳)		1,023.71	231,235,174						1,023.71	231,235,174	
計			1,023.71	231,235,174						1,023.71	231,235,174	
合計			6,418.00							6,418.00		

ウ 山林

該当なし

エ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

該当なし

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和2年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
47枚	0枚	0枚	47枚
		0円	

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	駐車場	日野郡日野町根雨140-1	22.8㎡	H31.3.8	H15.4.1	H31.4.1~R2.3.31	丹繰・年額 13,524	4,466	鳥取市千代水4丁目37(公財)鳥取県造林公社	文書ID 18-00325895	
	駐車場	日野郡日野町根雨140-1	10㎡	R1.5.10	R1.5.10	R1.5.10~R2.3.19	丹繰・年額 5,880	5,015	米子市車尾3丁目1-46(株)広洋コンサルタント	文書ID 19-00038229	
	駐車場	日野郡日野町根雨71-1	10㎡	H31.3.8	H30.3.13	H31.4.1~R2.3.31	丹繰・年額 5,880	1,941	鳥取市千代水4丁目37(公財)鳥取県造林公社	文書ID 18-00325895	
	駐車場	日野郡日野町根雨71-1	10㎡	H31.3.26	H26.4.17	H31.4.1~R2.3.31	丹繰・年額 5,880	2,913	日野郡日野町根雨140-1 日野郡鳥獣被害対策協議会	文書ID 18-00345623	
	現場事務所	日野郡日野町根雨71-1	337㎡	R1.7.12	R1.7.12	R1.7.12~R1.12.20	丹繰・年額 198,156	76,470	米子市榎原1452-1(株)三徳興産	文書ID 19-00118677	
計								90,805			
普通財産		該当なし					月額・年額				
計							月額・年額				
合計								90,805			

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付目的(使用許可)	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	ダム放流時通報装置設置	日野郡日野町根雨140-1	0.53㎡	H30.12.12	H15.4.1	H31.4.1~R2.3.31	月額・年額 830	9,900	広島市中央区小町4-33 中国電力(株)	文書ID 18-00244357	
	監督補助業務執務室	日野郡日野町根雨140-1	3.3㎡	R1.5.10	R1.5.10	R1.5.10~R2.3.19	月額・年額 3,320	34,081	米子市車尾3丁目1-46 (株)広洋コンサルタント	文書ID 19-00038229	
	設計書閲覧用複写機設置	日野郡日野町根雨140-1	1.34㎡	H31.2.26	H15.4.1	H31.4.1~R2.3.31	月額・年額 1,660	13,201	倉吉市福庭町2丁目23 (公財)鳥取県建設技術センター	文書ID 18-00313453	
	事務室	日野郡日野町根雨140-1	76.5㎡	H31.3.8	H15.4.1	H31.4.1~R2.3.31	月額・年額 63,910	254,105	鳥取市千代水4丁目37 (公財)鳥取県造林公社	文書ID 18-00325895	
	事務室	日野郡日野町根雨140-1	18㎡	H31.3.26	H26.4.17	H31.4.1~R2.3.31	月額・年額 14,940	89,101	日野郡日野町根雨140-1 日野郡鳥獣被害対策協議会	文書ID 18-00345623	
	自動販売機設置	日野郡日野町根雨140-1	1.4㎡	H31.3.15	H31.3.15	H31.4.1~R6.3.31	月額・年額 17,109	17,109	米子市両三柳2887-2 ダイドーウエストベンディング(株)	文書ID 18-00333964	
計								417,497			
普通財産							月額・年額				
		該当なし					月額・年額				
計											
合計								417,497			

(2) 物品

(令和2年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
天体望遠鏡	1台	VIXEN ポルタ II A80Mf	R1.7.25~ R1.7.29	月額・年額	無料	日野郡江府町江尾 こうふくらしっく	江尾47-15	エバーランド奥大山	江府町民向け「星を見る会」で使用	
双眼鏡	3台	VIXEN Z8×24	R1.7.25~ R1.7.29	月額・年額	無料	日野郡江府町江尾 こうふくらしっく	江尾47-15	エバーランド奥大山	江府町民向け「星を見る会」で使用	
合計										

10 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況		借受先		備考
						借受期間	借料(円)	住氏名	所名	
土地	保安林	俣野毛無山線歩道用地	江府町大字俣野字篠谷山1-2、1-4	1,636.97㎡	有	17.8.1~2.3.31	月額・年額 無料	江府町大字江尾475 神奈川財産区管理者 江府町長	江尾475	自動更新
	保安林	俣野毛無山線歩道用地	江府町大字俣野字篠谷山1-3、足奥谷643-10	309.60㎡	有	17.8.1~2.3.31	月額・年額 無料	江府町大字江尾475 江府町長	江尾475	自動更新
	保安林	俣野毛無山線歩道用地	江府町大字俣野字篠谷山1-1	854.00㎡	有	27.4.1~1.9.30 1.10.1~6.9.30	月額・年額 無料	鳥取市吉方109 鳥取森林管理署長		
	雑種地	俣野毛無山線歩道用地	江府町大字俣野字篠谷山1-8	147.60㎡	有	17.8.1~2.3.31	月額・年額 1,800	鳥取市新品治1-2 中国電力(株)鳥取支社長		自動更新
	保安林	船通山制札版用地	日南町大字上萩山滑鉄所1739-4	6.00㎡	有	17.11.10~2.3.31	月額・年額 無料	個人(3名)		自動更新
	原野	鍵掛峠園地事業	江府町大字御机字大平原837-5	6.93㎡	有	17.6.22~園地事業廃止まで	月額・年額 無料	江府町大字江尾475 米澤財産区管理者 江府町長		
	その他 構築物	電源用ケーブルの添架	江府町御机地内	1本1条	有	17.8.1~2.3.31	月額・年額 1,308	岡山市北区中山下2丁目1-90 西日本電信電話(株) 岡山支店長		自動更新
	合計									

1 1 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	日野郡日野町根雨 140-1	12.5	1,828
普通財産	該当なし		

(2) 減免の考え方(減免を行った場合のみ)

身体的理由等により自家用車での通勤がやむを得ない場合 減免率 1 / 2
 疾病により、駅及び近傍駐車場からの短距離の歩行すら困難が伴う職員に利用を許可したため。

(3) 使用料の見直し

令和元年 12月 2日実施

1 2 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

1 3 備品の処分状況調べ

該当なし

1 4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

・ 無

(2) 物品の照合

・ 無

地域振興課

15 合同庁舎に入居している団体等の調べ

(令和2年3月31日現在)

団体名	職員数 人	当初入居 の年月日	面積 ㎡	職員1人 当たりの 面積 ㎡	許 可 使 用 料 (月又は年額) 円	減免 率 %	共 益 費 の 負 担 方 法	備 考
(公財)鳥取県 造林公社	7	H15.4.1	109.3	15.6	260,512	66.7	電気代：総額/総 面積×許可面積 水道代：総額/総 人数×入居人数 ※公有財産事務 取扱規則による	H31.4.1 ～ R2.3.31
日野郡鳥獣被 害対策協議会	4	H26.4.1	28.0	7	92,014	50	電気代：総額/総 面積×許可面積 水道代：総額/総 人数×入居人数 ※公有財産事務 取扱規則による	H31.4.1 ～ R2.3.31
(株)広洋コン サルタント	1	R1.5.10	13.3	13.3	39,096	0	電気代：総額/総 面積×許可面積 水道代：総額/総 人数×入居人数 ※公有財産事務 取扱規則による	R1.5.10 ～ R2.3.19

16 主な事務事業の実施状況

(1) 管内地方機関及び市町村との連携

「5 主な事業に関する調べ」に詳細を記載

(2) 広聴、広報等

① 県政相談等の処理

＜平成31年4月～令和2年3月＞

相談の種類	面談	電話	郵送・FAX・メール等	計
県民の声	0件	2件	1件	3件

※県民の声については、「要留意」分を除く

② 県政に係る広聴

該当なし

③ 情報公開・個人情報保護

公文書開示請求件数	0件
個人情報開示請求件数	0件

④ 行政手続きに係る事務処理

該当なし

(3) NPO、ボランティアとの協働

該当なし

(4) 国際交流の推進

該当なし

(5) 地域振興

① 中山間地振興

令和元年度新規事業として日野郡3町と日野振興センターがタイアップして「現場支援」による地域づくりの推進を図った。

ア 日野郡3町9地区のモデル地区指定を行い地域づくりの現場支援を行った

・地域住民暮らしの実態ヒアリング、地域づくりカルテの作成、地域づくりのロードマップづくり

- 地域づくり座談会の開催、地元学の実施、先進地視察の支援
- イ 集落再生構築システム事業（各町1カ所合計3カ所実施）
 - ・集落ヒアリング調査、アンケートの実施、集落座談会の開催
- ウ 若者定住要因調査（島根県中山間地域研究センターと連携事業）
 - ・高校生、20歳から40歳の全住民アンケート調査の実施、調査分析報告会の開催
- エ 地域づくり研修会の開催

「待ったなし地域づくり研修会」 令和2年2月28日（金）日野振興センター大会議室
 講師 島根県中山間地域研究センター 東主任研究員 飯南町志々公民館長
 参加者60人（日野郡3町地域づくり団体）
- オ 日野川の源流と流域を守る会 「5 主な事業に関する調べ」に詳細を記載

② 定住促進

管内3町に対して、移住定住施策の推進に係る相談受け入れや助言を行うとともに、移住定住推進交付金や空き家確保支援補助金により取り組みの支援を行った。
 （移住定住に係る目的別の補助金の状況）

（単位：千円）

目的	日南町		日野町		江府町	
	件数・戸数	補助金額	件数・戸数	補助金額	件数・戸数	補助金額
移住選任相談員の配置	1件	1,000	1件	924		
移住者のための空き家改修補助	1件	101	1件	650	3件	1,367
移住者のための空き家家財道具処分補助	3件	150	—		3件	299
お試し住宅の整備	—		1件	1,996	1件	2,000
空き家修繕費概算見積り委託	1件	10	1件	10		
合計 （前年度）		1,261 (1,985)		3,580 (791)		3,666 (1,366)

③ 交流促進・観光振興

「5 主な事業に関する調べ」に詳細を記載

(6) 商工業の振興等

該当なし

(7) 農商工連携の推進

該当なし

(8) 危機管理の対応

- ・マニュアルの整備

災害対策本部運営、情報連絡員業務要項、消防計画、新型インフルエンザ、鳥インフルエンザ、口蹄疫、原子力防災 等

- ・研修の実施

災害情報システム操作、情報連絡員（リエゾン）、鳥インフルエンザ、原子力防災、緊急地震速報（Jアラート）対応 等

(9) その他

① 窓口受付件数

業務名	相談区分			受付 (D)	合計 (C) + (D)
	窓口 (A)	電話 (B)	小計 (A) + (B) (C)		
税務	116件	0件	116件	97件	213件

② 犬、猫の引取件数（西部生活環境局へ引き渡し）

区分	件数	頭数
犬	0	0頭
猫	0	0頭

農 林 業 振 興 課

15 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	農業総務費（現年）	(令和2年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
森林整備担い手育成総合対策事業	<p>林業の新規就労者に対する研修の実施を通じて、担い手を育成・確保することを目的とする。</p> <p>0JTの研修を実施したことにより、新規就労者の技術等の向上が図れた。</p> <p>(株)御神山業2名、(株)グリーンシャイン1名、日南町森林組合1名</p>	

目 名	林業振興費（現年）	(令和2年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
竹林整備事業	<p>放置竹林の有効活用による竹林の適正な管理を実施するため補助した。</p> <p>1箇所, 0.13ha</p>	
森林整備担い手育成総合対策事業	<p>林業事業体が雇用する林業労働者に係る社会保険料の事業主体負担に要する経費及び安全衛生技能講習の受講等に要する経費を助成する。</p> <p>労働安全衛生環境の整備、福利厚生等の充実が図られ、更に林業労働者を育成・確保しやすい環境が整った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材運搬等効率改善事業 4名 ・社会保険料掛金助成事業 延べ10名 ・安全衛生技能講習支援事業 1名 ・安全・安心を確保するための装備・器具等購入費助成事業 46個 	
きのこ王国とっとり推進事業	<p>原木しいたけ等の生産体制の整備、原木の安定確保を行う生産者等の取組を支援する。</p> <p>きのこ王国ととりの推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木安定供給支援 鳥取式作業道 658m ・生産拡大支援 植菌本数 1,012本 	
間伐材搬出等促進事業	<p>間伐材の原木市場、製材加工施設等への出荷・販売に要する経費の助成事業を実施したことにより間伐が進み、資源の有効利用が図られた。</p> <p>6事業主体 搬出材積 81,374.607m³</p>	
未来の林業を担う即戦力人材確保育成事業	<p>森林及び林業に関する知識及び技術を習得し、将来的に林業の中核を担うことが期待される人材を育成することにより、林業への就業意欲を喚起し、新規就労者の確保を図ることができた。</p> <p>緑の青年就業準備給付金 給付金受給者 6名</p>	

	<p>林業分野への就業者 5名 給付金給付額 6,618,000円(1,103,000円/人) 安全衛生技能講習等支援 補助金額 1,005,125円</p>
鳥取県即戦力人材育成 確保支援事業	<p>県内の林業事業体へ就業を予定しているにちなみ中国山地林業アカデミーの研修生に準備金を支給する日南町を支援することで、森林及び林業に関する知識及び技術を習得した人材を育成・確保し、本県の林業、木材産業等の振興を図ることができた。 補助金額 680,000円</p>
森林整備のための地域 活動支援事業	<p>森林所有者又は森林経営の委託を受けた者による計画の作成、森林施業の集約化、並びに森林所有者等による施業の実施に不可欠な地域活動に対する支援。 日野町、江府町において経営計画作成同意を森林所有者から取得し、次年度の経営計画作成の足がかりとなった。 森林経営計画作成促進・・・日野町220.81ha、江府町183.75ha</p>
低コスト林業機械リース等支援事業	<p>目的 機械化の整備により生産性向上及び労働負荷、搬出コストを低減し、持続性のある産業構造に改善することで森林の適正管理と間伐材の有効利用を図るため、高性能林業機械の購入又はリース・レンタルに係る経費への助成。</p> <p>実績 リース：ハーベスタ 2台 フェラパンチャー 3台 グラップル 1台 グラップル 8台 バックホウ 1台 フォワーダ 5台 トラック 1台 購入：フェラパンチャー 1台 グラップル 1台</p> <p>成果及び効果 森林の適正管理と間伐材有効利用に寄与した。</p>
林業成長産業化地域創 出モデル事業	5 主な事業に関する調べに記載
とっとり県民参加の森 づくり推進事業	<p>森林を守り育てる意識を醸成するための森林企画体験等を支援。 2団体が森林教室や源流探訪を行い、森林を守り育てる意識が育てられた。</p>

目 名	林業振興費(明許)	(令和2年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
路網整備推進事業 (鳥取県合板・製材・ 集成材生産性向上・品 目転換促進対策事業)	<p>目的 「総合的なTPP関連政策大綱」に即し、地域材の競争力強化に向け、生産性向上等の体質強化を図るための合板・製材工場等の整備とそれらに向けて原木を安定的に供給するための間伐材の生産及び路網整備等を一体的に実施する取組を支援</p>	

	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業専用道作設 1路線 892m ・ 補強 1箇所 <p>成果及び効果</p> <p>管内の間伐材生産及び拠点施設への販売を促進し、地域材の競争力強化を図った。</p>
<p>路網整備推進事業 (林業再生事業)</p>	<p>目的</p> <p>高密度路網の整備により、森林集約化の促進、素材生産性の向上、素材生産コストの低減、労働環境の改善を促し、持続性のある産業構造に改善することで森林の適正管理と森林資源の有効利用及び林業従事者の安定的な確保を図る</p> <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業専用道作設 3路線 1,791m <p>成果及び効果</p> <p>森林の集約化と、適正管理のための基盤整備を行い、森林資源の有効利用に寄与した。</p>
<p>木づかいの国とっとり 木育推進・県産材需要 拡大実践事業</p>	<p>目的</p> <p>県産材の良さやその利用の意義を学ぶ活動である木育を推進することで、子供たちの豊かで健やかな成長を実現し、併せて県民の「木を使って森を育てる」意識を醸成する</p> <p>実績</p> <p>日南町において、令和元年度に新生児が誕生した20世帯に対し、木のおもちゃ（積み木）を配布</p> <p>成果及び効果</p> <p>新生児の遊具として日南町産の木材を使用することで、町産材に触れ森林整備の必要性に対する意識醸成に寄与した。</p>

目 名	森林病虫害防除費（現年）	（令和2年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
ナラ枯れ対策事業	<p>カシノナガキクイムシの駆除とまん延防止。 日野町及び江府町において被害木736本を駆除し、森林の機能確保に寄与した。 江府町においてカシナガトラップ99基を設置し、約9万6千頭を捕獲した。</p>	

目 名	造林費（現年）	（令和2年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
令和元年度生山採種園維持管理業務	<p>県営生山採種園の維持管理に必要な薬剤散布及び下刈を実施した。 下刈り4,74ha, 薬剤散布1,360本（2種・4回）</p>	
造林事業	<p>森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、森林組合等の実施する森林整備事業に対して助成した。 森林環境保全直接支援事業 296.87ha 機能回復整備事業 0.70ha 森林経営計画における施業の推進に寄与した。</p>	
造林事業（美しい森林づくり基盤整備交付金推進）	<p>森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、美しい森林づくり基盤整備交付金事業を行っている市町村に対して助成した。 造林事業（美しい森林づくり基盤整備交付金推進） 22.26 ha 多面的機能の高度発揮の促進に寄与した。</p>	

目 名	造林費（明許）	（令和2年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
造林事業	<p>森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、森林組合等の実施する森林整備事業に対して助成した。 森林環境保全直接支援事業 240.64 ha 森林経営計画における施業の推進に寄与した。</p>	

目 名	林道費（現年）	（令和2年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
農山漁村地域整備交付金事業（フォレスト・コミュニティ総合整備事業）	<p>地域における林業生産の向上と林業従事者の定住化の促進、及び山村地域の活性化に資するため、林業生産及び生活環境の基盤整備を総合的に行うもので、山村振興に大きな役割を有する林道開設を実施。 県営 森林基幹道 窓山線（新屋工区） 未成（法面）L=200m</p>	
道整備交付金事業	<p>少子高齢化、農山村における過疎化の進展など、社会情勢の変化に適切に対応するために一定地域で県及び町が策定する「地域再生計画」に基づき林道整備を実施。 県営 森林基幹道 窓山線（多里工区） 未成（法面）L=868m</p>	

	<p>完成（舗装）L=870m</p> <p>県営 森林基幹道 行者山線（大木屋工区、赤谷工区） （大木屋工区）未成（土工、法面）L=424m、完成（舗装）L=390m （赤谷工区）未成（土工、法面）L=260m</p> <p>団体営 森林管理道 内方線 完成（舗装、法面）L=2052m</p>
林道改良事業	<p>既設林道の機能向上のため、法面の改良を行う。</p> <p>団体営 森林管理道 船通山線 法面改良 L=30m</p>
林道点検診断・保全整備事業	<p>既設林道について、橋りょう等の点検診断を行う。</p> <p>団体営 米子市 1橋 日南町 2橋</p>
県単林道事業	<p>県が管理している林道の維持・補修を実施。 町が実施する県営森林基幹道の用地取得に対して補助。</p> <p>補修 森林基幹道 宝仏山2号線 1路線 森林管理道 内井谷線、西畑線 2路線</p> <p>維持 森林基幹道 宝仏山2号線 1路線 用地取得補助 行者山線（南部町）</p>

目 名	林道費（明許）	(令和2年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
農山漁村地域整備交付金事業（フォレスト・コミュニティ総合整備事業）	<p>地域における林業生産の向上と林業従事者の定住化の促進、及び山村地域の活性化に資するため、林業生産及び生活環境の基盤整備を総合的に行うもので、山村振興に大きな役割を有する林道開設を実施。</p> <p>県営 森林基幹道 窓山線（新屋工区） 完成（舗装）L=170m 未成（土工）L=180m</p> <p>県営 森林基幹道 窓山線（新屋2工区） 未成（土工）L=561m</p>	
道整備交付金事業	<p>少子高齢化、農山村における過疎化の進展など、社会情勢の変化に適切に対応するために一定地域で県及び町が策定する「地域再生計画」に基づき林道整備を実施。</p> <p>県営 森林基幹道 窓山線（多里工区） 未成（土工）L=320m</p> <p>県営 森林基幹道 行者山線（大木屋工区） 未成（土工）L=230m</p> <p>団体営 森林管理道 内方線</p>	

	未成（土工）L=978m
林道改良事業	既設林道の機能向上のため、法面の改良及び橋梁の補修を行う。 県営 森林管理道 大平線 法面改良 L=174m 県営 森林管理道 内井谷線 橋梁補修 1箇所
林道舗装事業	既設林道の機能向上のため、舗装を行う。 県営 森林管理道 大平線 完成（舗装）L=640m
県単林道事業	県が管理している林道の維持・補修を実施。 補修 森林基幹道 行者山線、宝仏山2号線 2路線

目 名	治山費（現年）	（令和2年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
令和元年度日南町地区 保育事業	治山事業地の森林及び水源地域の保安林機能の低下した森林を対象として、その健全な成長の促進を図るため、本数調整伐を実施し、森林の健全な成長を促進させ、保安林の公益的機能の維持向上を図った。 本数調整伐 11.78ha	

目 名	林道施設災害復旧費（現年）	（令和2年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
林道施設災害復旧事業	令和元年に発生した自然災害により被災した林道施設の復旧を実施。 ○台風19号災害（R1.10.12～13） ・県営林道 大平線 1箇所 平成29年及び30年に発生した自然災害により被災した林道施設の復旧を実施。 ・団体営事業の分割補助 南部町 鎌倉山線 2箇所（29年災） 日南町 船通山線 1箇所（30年災） 平成30年に発生した自然災害により被災した林道施設の復旧を実施。 ○平成30年7月豪雨災害（H30.7.5～7） ・県営林道 西畑線 2箇所	

目 名		林道施設災害復旧費（明許）	(令和2年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）		
林道施設災害復旧事業	<p>平成30年に発生した自然災害により被災した林道施設の復旧を実施。</p> <p>○平成30年7月豪雨災害（H30.7.5～7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県営林道 <ul style="list-style-type: none"> 西畑線 2箇所 ・ 団体営事業の補助 <ul style="list-style-type: none"> 南部町 鎌倉山線 4箇所 伯耆町 日野金城線 1箇所 日南町 窓山線外5路線 10箇所 江府町 半ノ上線外1路線 2箇所 <p>○平成30年9月豪雨災害（H30.8.31～9.1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体営事業の補助 <ul style="list-style-type: none"> 南部町 鎌倉山線 1箇所 <p>○台風24号災害（H30.9.29～10.1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県営林道 <ul style="list-style-type: none"> 行者山線 1箇所 ・ 団体営事業の補助 <ul style="list-style-type: none"> 南部町 鎌倉山線外3路線 14箇所 日南町 船通山線外3路線 4箇所 日野町 宝仏山2号線外1路線 3箇所 <p>◎災害復旧の計画概要を示す書類作成を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体営事業の補助 <ul style="list-style-type: none"> 南部町、伯耆町、日南町、日野町及び江府町 		

目 名		林道施設災害復旧費（事故）	(令和2年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）		
林道施設災害復旧事業	<p>平成29年に発生した自然災害により被災した林道施設の復旧を実施。</p> <p>○台風18号災害（H29.9.17～18）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体営事業の補助 <ul style="list-style-type: none"> 日南町 小熊井谷線 1箇所 		

目 名	県営林事業特別会計 管理事業費（現年）
-----	------------------------

（令和2年5月31日現在）

事業名	事業の概要（目的、実績等）
令和元年度板井原県有 林維持管理作業	板井原県有林内の林道及び作業道の維持管理のため、除草、側溝清掃等を実施した。 林道除草 2, 509.60m ² 作業道除草 12, 461.6m ² 側溝清掃 275m 桧清掃 2箇所

16 用地取得の状況調べ
該当なし

17 登記の状況調べ
(1) 登記の状況
該当なし

(2) 未登記原因調べ
該当なし

18 林業改良指導活動状況調べ

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
新しい森林管理システムの円滑な実施支援	6町(町の委託先を含む) ・日南町 ・日野町 ・江府町 ・大山町 ・南部町 ・伯耆町	<p>(1) 意向調査の実施に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町、森林組合における森林経営管理制度の理解促進のため、勉強会開催、個別の相談対応(制度概要、事務の流れなど) ・委託予定先である森林組合に、意向調査に向けた担当者の配置、実施体制の充実強化の働きかけ ・意向調査の地区選定についての助言、森林所有者説明用の図面作成等のための森林クラウドの利活用の勉強会開催、個別指導 ・意向調査業務の委託に向け、町と組合の役割分担についての助言、他県の委託費積算参考資料等の情報提供 ・町に意向調査の調査表作成について、調査項目等の助言 ・町に所有者説明会に向けて想定質問の作成、回答案について助言 <p>(2) 集積計画の実施に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町、森林組合に集積計画の作成方法等についての勉強会開催 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町の委託先である森林組合の協力、理解が得られ、計画どおりに意向調査が実施された。 <p>(結果)</p> <p>意向調査の実施 6町 各町1団地</p>

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
素材生産量の増大に向けた取組の支援	・日南町 森林組合 ・鳥取日野森林組合 ・鳥取県西部森林組合	<p>(1) ICTの活用による省力化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航測データを活用するためのデータ整理、森林GISの可視化やマニュアルの作成 ・集約化のためのICT活用研修(レーザ航測、森林クラウド)の実施 ・レーザ航測の活用プレゼン、活用に向けた体制構築などの意見交換 <p>(2) プランニング、集約化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林施業プランナーと航測データを活用した森林GISによる集約化の助言、指導 ・森林整備を推進するため、現地踏査を行い、作業道の法線、補修方法を助言、指導 <p>(3) 路網構築支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野川左岸の林業専用道計画のため路網プランナ 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林クラウドの利活用と森林GISソフトの利活用が始まった。 ・ICT技術を使ったスマート林業が始まった。 ・レーザ航測データを活用した施業提案書作成の検討が始まった。 ・日南森林組合主導により集約化に向け56団地が絞り込まれ、そのうち25団地が作業実施に向け計画策定中となっている。 ・森林経営計画が立てられたも

		<p>一との現地踏査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野川左岸幹線路網推進PTにて、関係者と現状を共有し、今後の取組について協議 ・林業専用道の計画・実行の手法研修実施 	<p>の、森林整備の目処が立たなかった地区で森林整備が実施、搬出され地元CLT工場に出荷された。</p> <p>(結果)</p> <p>ICTの活用 3組合</p> <p>集約化 500ha(25団地)</p> <p>作業実施 77ha(7団地)</p> <p>幹線計画策定 4路線</p>
--	--	---	---

農業振興室

15 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	農業総務費（現年）	（令和2年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
がんばる農家プラン事業	<p>意欲ある農業者等が作成した、生産販売等に係る地域の特色を活かした改善計画（プラン）に対して、実現に必要な支援を町とともにいき、地域農業の振興と活性化を図る。</p> <p>○審査会：1回開催（プラン認定新規1件）</p> <p>○事業実施：日南町3件（個人0、法人3）</p>	
新規就農者総合支援事業（就農条件整備事業）	<p>将来、本県の効率的かつ安定的な農業経営の担い手となるのにふさわしい青年等の就農の促進及び自立を支援するため、新規就農者の就農初期の経営基盤整備の負担軽減を図ることを目的とする。</p> <p>○事業実施：日南町3件</p>	
新規就農者総合支援事業（就農応援交付金）	<p>新規就農者の経営が早期に安定し、これらの者が本県の農業の担い手として定着することを目的とする。</p> <p>○事業実施：日南町1件</p>	
新規就農者総合支援事業（親元就農促進支援事業）	<p>本県の地域農業の担い手として位置づけられる農業経営体の経営者の親族の当該農業経営体への就農を促進し、農業経営の継続的な発展を図るとともに、当該親元就農者が、将来、地域農業の担い手として定着することを目的とする。</p> <p>○事業実施：日野町1件</p>	
集落営農体制強化支援事業	<p>集落営農において機械施設の整備等を支援するとともに、組織の継続性の確保と集落農地の維持が出来る体制づくりを図り、次世代への運営の継承を円滑に進める。</p> <p>○事業実施：日南町3組織</p>	
経営体育成支援事業（条件不利地域型）	<p>経営規模が小規模・零細な地域において、農作業の共同化や農地の利用集積の促進等により、生産性の向上や農作業の効率化等を図り、意欲ある経営体を育成するため、必要となる共同利用機械等の導入を支援する。</p> <p>○事業実施：日南町1件（個人0、法人1）</p>	
もうかる6次化・農商工連携支援事業	<p>意欲ある農林漁業者や連携する食品加工業者等が作成した、生産加工流通等に係る計画（プラン）に対して、実現に必要な支援を町とともにいき、6次産業化や農商工連携を進め、地域経済の活性化を図る。</p> <p>○審査会：1回開催（プラン変更1件）</p> <p>○事業実施：江府町1件（個人0、法人1）</p>	

目 名	農業金融対策費（現年）	(令和2年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
農業近代化資金等利子補給事業	<p>認定農業者が効率的・安定的な経営体を目指し、農業近代化資金、農業経営基盤強化資金等を借り受ける場合に、利子負担を軽減することにより、経営の安定化を図ることを目的に支援を行う。</p> <p>○事業実施：日南町4経営体</p>	

目 名	農作物対策費（現年）	(令和2年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
有機・特別栽培農産物等総合支援事業	<p>有機・特別農産物の生産振興を図るために、生産、販売並びに消費者交流などの積極的な取り組みを行う農家を支援する。</p> <p>○事業実施：江府町1件</p>	
鳥取県鳥獣被害総合対策事業	<p>野生鳥獣による農林産物への被害を減少させるため、鳥獣侵入防止柵の設置、有害鳥獣捕獲等を支援する。</p> <p>○事業実施：日南町、日野町、江府町</p>	
鳥取県鳥獣被害防止総合対策交付金	<p>野生鳥獣による農林産物への被害を減少させるため、鳥獣侵入防止柵の設置、ニホンジカ有害捕獲、被害防止技術の指導普及を担う鳥獣被害対策実施隊の活動等を支援する。</p> <p>○事業実施：日南町、日野町、江府町、日野郡鳥獣被害対策協議会</p>	
日野郡鳥獣被害対策協議会支援事業	5 主な事業に関する調べに記載	

目 名	農作物対策費（明許）	(令和2年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	<p>国事業の産地パワーアップ事業を活用して、県が開発した鳥取型低コストハウスの導入を推進し、高収益な野菜・花き等のハウス栽培品目の生産振興を図る。</p> <p>○事業実施：日南町農業再生協議会</p>	

目 名	家畜保健衛生費（現年）	（令和2年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
鳥取県鳥獣被害総合対策事業（豚コレラ対策奨励金）	<p>有害捕獲奨励金を交付していない猟期（11月～2月）における野生イノシシの捕獲に対する奨励金を緊急的に創設し、捕獲増を目指す。</p> <p>○事業実施：日南町（捕獲数157頭）、日野町（捕獲数120頭）、江府町（捕獲数145頭）</p>	
豚コレラ防護柵対策緊急支援事業	<p>県内での豚コレラ発生防止のために養豚場がイノシシ等野生鳥獣を防御するための防護柵等の購入に対する助成を行う。</p> <p>○事業実施：日南町1件</p>	

目 名	畜産振興費（現年）	（令和2年5月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
鳥取和牛振興総合対策事業	<p>「和牛王国」復活に向けて繁殖雌牛、和子牛の増頭及び肉牛の出荷頭数の増加、鳥取和牛ブランドの確立のために、和牛繁殖雌牛の購入の支援を行い、県内和牛農家の経営安定を図る。</p> <p>○事業実施：日南町（購入3頭、自家保留6頭）、日野町（購入3頭、自家保留3頭）、江府町（購入2頭、自家保留2頭）</p>	

1.6 用地取得の状況調べ
該当なし

1.7 登記の状況調べ
(1) 登記の状況
該当なし

(2) 未登記原因調べ
該当なし

日野農業改良普及所

15 事業別予算執行状況調べ

目 名	農業改良普及費	(令和2年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県農業改良普及事業	改良普及員が普及指導計画に基づき、新品種新技術の普及や技術改良指導及び地域農業振興について助言や支援を計画的に行った。 ※「5 主な事業に関する調べ」に記載	

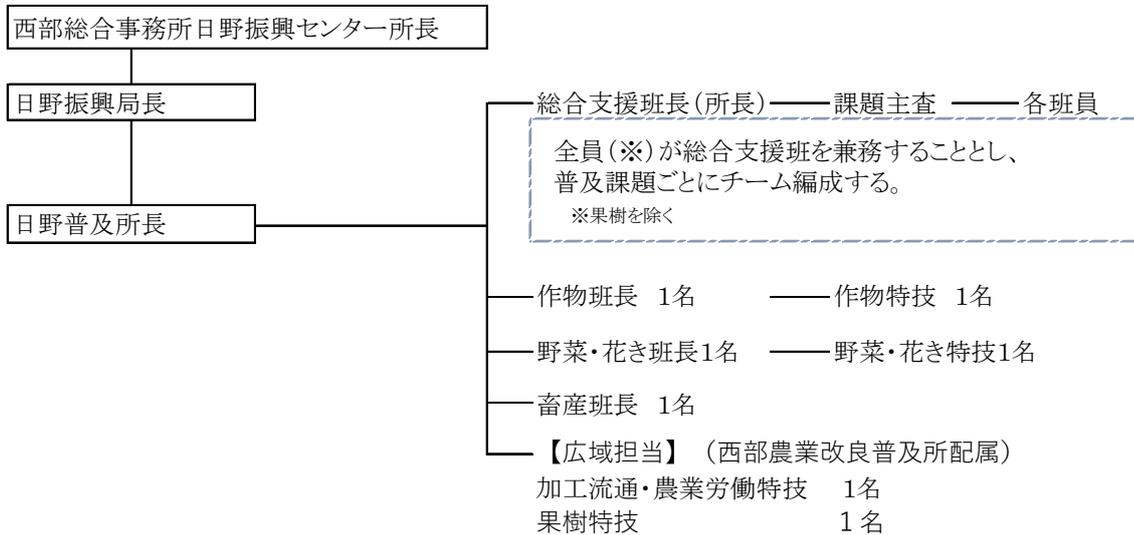
16 農業改良普及事業

(1) 普及事業の実態

ア 基本方針

「地域を担う農業者の育成・自立」をミッションに掲げ、担い手農業者等の経営発展と新規就農者の育成、農畜産物の安定生産、地域農業の振興等について活動を行った。

イ 活動体制



(2) 農業改良普及所の担当地区

(令和2年3月31日現在)

市町村名	担 当 地 区 の 状 況							
	田 ha	畑(樹園地、牧草地含 む) ha	計 ha	販売農家数 戸	乳用牛 頭	肉用牛 頭	豚 頭	鶏 羽
日南町	1,360	143	1,510	676	63	319	8,355	299,800
日野町	361	45	406	255	114	73	0	0
江府町	552	204	756	416	147	47	0	0

注1 耕地面積、販売農家数は農林水産省ホームページ「わがマチ・わがムラ」各町基本情報による
耕地面積は令和元年値、販売農家数は平成27年値

注2 家畜頭数は、普及所畜産班調べ(令和2年3月31日現在による)

(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
中山間地での星空舞の生産振興	星空舞栽培農家	JAと連携し、新品種「星空舞」の現地指導を行った。重点対象農家を選定し、生育調査結果に基づき施肥の個別指導を行うと共に、県指針のない高標高(450m)での適応性について現地試験を行った。	星空舞の栽培について農家の理解が進み、重点対象農家では平均収量510kg/10a、食味値79と目標を上回り、作付面積拡大につながった。高標高の現地適応性が確認でき、新たに300m地帯での栽培基準作成につながった。
中山間地に適応した水田農業の担い手育成と支援	水田農業の担い手、(集落営農組織、法人経営体)	集落営農の法人化、担い手の収量向上、畦畔管理、省力化等の課題解決に向けた支援を行った。また、日野郡中山間営農ネットワーク協議会の活動を支援し、法人間の話し合いを進めた。	(農)すがさき(江府町)設立、水稲の収量性向上による経営改善、スマート機器活用の評価など課題解決に向けた取り組みが進んだ。また、「農地」「人材確保」「省力化・スマート農業」について意見交換し、法人間の共通認識につながった。
白ネギ・ピーマン等の生産性向上と産地維持	白ネギ・ピーマン生産部、花壇苗栽培農家	白ネギでは、排水性改善や低収者の個別課題に応じた支援、ロングピッチチェーンポット(LP)苗導入による定植作業の軽労化を推進した。ピーマンでは、新規栽培者である法人を重点指導し、技術向上を図った。また、JA座談会等を通じて新規栽培者の掘り起こしを行った。	白ネギの低収要因が整理でき、対策が進んだ。LP苗定植について生産者の理解が進むとともに、JAとの連携によりLP苗の供給体制が整ったことで、新たに7名が取り組むこととなった。ピーマンでは、重点指導により法人の単収が平均を大きく上回り、次年作に向けて生産意欲が大きく向上した。
畜産産地再興を目指した担い手の育成と支援	和牛酪農飼養農家	ゲノム育種価を活用した増頭と高能力牛保留、M牛子牛合格率向上を推進した。また、若手農業者等の飼養管理や経営指導を行った。	ゲノム育種価について意識が高まり、12頭の高能力牛が保留された。また、若手農業者の出荷子牛発育が改善した。
新規就農者等の育成確保	認定新規就農者、親元新規就農者、日南町農業研修生等	新規就農者へ早期経営安定のため、目標反収・所得達成に向けて支援した。また、就農予定である農業研修生に対し、就農計画作成や農地確保や排水改良等の支援を行った。	新規就農者6名中2名が、所得目標を概ね達成した。また、2名が新たに認定新規就農者となり、1名は就農し、1名はハウス設置等就農前の準備が完了した。

(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況

事業名	該当地区	援助指導状況	成果・結果
みんなでやらいや農業支援事業	日南町	意欲的な農業者の事業計画の作成について新規は日南町で2件支援した。	「がんばる農家プラン」3件（新規1、継続2件）の事業が執行された。
新規就農者総合支援事業	日南町	就農希望者の相談を受け、就農計画作成等の支援を行った。	日南町で2名の就農研画が認定された。
集落営農体制強化支援事業	日南町 江府町	集落の法人化や補助事業に係る計画作成について支援した。（日南町1、江府町1件）。	日南町で1件の事業が執行された。
スマート農業技術実証事業	日南町	事業実施主体である法人と農試・県担当課・農機メーカー等との調整、現地調査を実施した。また、スマート農機の実演会開催や実施主体の報告会講演等の支援を行った。	スマート農業技術体系実証試験（2ha）、ドローン体系実証試験（0.7ha）等が実施され、導入効果の検証が進んだ。

(5) 農業改良普及所が指導及び設置している展示圃（農業改良普及活動促進事業）の設置状況調べ

（令和2年3月31現在）

事業名	展示目的	展示内容	実施場所	実施者名	事業費	事業量計画(実績)	展示期間	指導した期間	支払額	支払年月日
協同農業普及事業	日野郡における白ネギロングピッチチェーンポット定植の現地実証	定植作業の労力軽減のため、ロングピッチチェーン苗移植の現地適応性を実証	江府町宮市	個人	10,000円	12a (12a)	H31.4. ~ R1.10	H31.4 ~ R1.12	10,000円	R1.11.25
〃	白ネギ栽培における疎水材心土充填機の効果確認	疎水材心土充填機（モミサブロー）による透水性改善効果と収量への影響を調査確認	日南町福塚	個人	10,000円	20a (20a)	H31.4. ~ R1.11	H31.4 ~ R1.12	10,000円	R1.11.25

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

注1 本表には、できるだけ何らかの意見・要望等を記載してください。

2 記載する内容

- ①業務の効率化に関する意見等、②制度改正等に関する意見等、③事務の改善に関する意見等、④事務の執行上、支障となっている事項等
- ⑤その他（事業所管課への要望や県政全般に対する意見・要望等）

(2) 監査委員事務局に対する要望等

(例：日程、調書様式、その他監査に関する要望、改善点等)

特になし